



11月末を迎えて

11月も様々な学校行事がありました。先週は、期末テストや避難訓練を実施しました。日曜日には、県中学校駅伝大会も実施されました。どの行事にも生徒たちはしっかりと取り組んでいます。このことは、内部中学校の先輩たちが作り上げた良き伝統であると思います。先輩たちに感謝するとともに、これからもずっと、こうした良い雰囲気大切にしていきたいと思っています。



また、外部から来校された方から「内部中学校の生徒さんは、本当に気持ちの良いあいさつをしてくれる」と、お褒めの言葉をいただきました。このことは良き伝統であるとともに、生徒たちだけでなく、教職員も含めてすべての人が気持ち良く毎日を過ごすことにつながっています。さわやかで良いあいさつは、コミュニケーションの第一歩です。それができている生徒たちは、社会に出てからも、様々な他者と対話ができ、豊かな人間関係をつくっていけると思います。

これからも「あいさつ」を大切に、気持ちの良い内部中学校をみんなで創っていきましょう。

県中学校駅伝競走大会

11月21日(日)の午前中、四日市市中央陸上競技場にて、『三重県中学校駅伝競走大会』が開催されました。三泗駅伝で見事4位に入った男子チームが、今回も見事な走りを見せてくれ、6位入賞となりました。



10月18日(月)の練習開始から文化祭の取り組みと並行して練習を重ねて、期末テスト期間も、朝夕に校庭を走ったり、実際に緑地公園で試走したり、タイムトライアルをしたりしながら、頑張ってくれました。当日も、チームで力を合わせ、県内の競合校の中で

引けを取らない大変立派な走りでした。活躍した選手生徒たちは、以下の通りです。

- 1区 伊藤ケン(2年) 2区 佐藤蒼波(3年) 3区 辰見結人(2年)
4区 鶴岡論也(2年) 5区 西村 尽(1年) 6区 石田天太(3年)
控え選手 辻 成(3年) 宮本和拓(3年) 今村朔也(2年)

避難訓練を終えて

内部中学校の生徒は、いつもマナーよく行動できるので感心しています。早く移動すること、早く並ぶこと、きちんと話を聞くこと、どれをとってもしっかりとできています。今回の避難訓練においても、とても早く、整然と避難が完了しました。その際に、以下のような話をしました。



災害は発生しないのならそれが一番です。しかし、残念ながらいつ何時、どのような災害に見舞われるかは、誰にも予測ができません。避難訓練は大変スムーズでしたが、実際の災害は、学校にいる時に発生する訳ではありませんし、夜中に発生する場合もあります。そこで大切になってくるのが、『問題解決能力』と『他者を慮る心』です。『問題解決能力』は、災害の状況に合わせて、「どのような

に避難したらよいか」「今何をすればよいか、次は何をすればよいか」等を適切に判断し行動することです。そこで大切なのが、みなさんの『知識』と『経験』です。学校の授業で学んだことはもちろんのこと、これまで経験や体験したことのすべてを駆使して、適切な行動がとれるようにすることが求められます。また『他者を慮る心』も重要です。災害の際は、自分の生命や安全を守ることを第一に考えるべきですが、少しでも余裕のある時は、周りの人たちにも心を配り、自分にできることを考えることも大切です。いわゆる『共助』です。災害時に限らず、私たちは日々、様々な人たちと関わりながら生活しています。ですから常に周りの人を慮ることが大切ですが、有事にはそれがより必要となります。みなさんの心の中にある『他者を慮る心』や『勇気』を、遺憾なく発揮してくれることを望みます。また、日頃の生活においてもそれを期待します。

今後の予定について

- ◇12月7日（火）に、小学校6年生と本校の2年生とで、「人権フォーラム」を実施します。
- ◇12月7日（火）に、3年生がリテラス「論理言語力検定」を実施します
- ◇12月13日（月）～15日（水）に、三者懇談会を実施します。
- ◇12月23日（木）に大掃除を行います。※昼食〔デリバリー給食〕は、この日までです。
- ◇12月24日（金）は2学期終業式となります。※3学期は、1月11日（火）からです。

地域のみなさんのお心

11月18日（木）に、『内部っ子はげまし隊』の11名のみなさんが来校され、校地内の樹木の剪定等の作業を行っていただきました。「生徒たちが気持ち良く学校生活を過ごせるように」と、朝早くから熱心かつ丁寧に作業を行っていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たち学校も今後地域のみなさんに、恩返しをしていきたいです。

